

# 第6回 ふくしまME (防災)コース カリキュラム

(令和6年8月23日現在)

	1日目: 10/24(木) ＜南東北総合卸センター組合会館＞	2日目: 10/31(木) ＜南東北総合卸センター組合会館＞	3日目: 11/8(金) ＜南東北総合卸センター組合会館＞	4日目: 11/14(木) ＜やないぶれあい館 (柳津町)＞	5日目: 11/27(水) ＜南東北総合卸センター組合会館＞	6日目: 12/7(土) ＜南東北総合卸センター組合会館＞
1時限	(9:30-9:40) <b>共通-1 実施要項説明</b> 担当: 福島県、事務局	(9:20-11:20) <*1回10分休憩> <b>防災-6 盛土安定診断と安定度評価</b> 担当: 仙頭紀明教授 (日本大学工学部)  ●盛土の安定性評価に関する設計指針変遷の概要 盛土の構成要素と変状の原因 (素因・誘因) 盛土の安定性評価の考え方と方法	(9:20-10:40) <b>防災-12 落石予防工・落石防護工</b> 担当: 小沼千香四 (日本技術士会東北本部 福島県支部)  ●落石防護工の基本 予防工・防護工の設計の考え方 落石対策施設の維持管理	(9:30-9:40) ガイダンス  (9:40-10:00) 移動等	(9:20-10:50) <b>防災-13 ロック/スノーシェッドの概説</b> 担当: 長尾晃 (日本技術士会東北本部 福島県支部)  ●導入時期による劣化機構の相違 構造形式による劣化機構の相違 設計・施工による劣化機構の相違	(9:30-12:30) <b>認定試験 (筆記試験)</b>
	(9:40-10:30) <b>共通-2 福島県の社会基盤施設の維持管理の現状</b> 担当: 福島県土木企画課		(10:50-12:10) <b>防災-15 トンネルの構造、点検体系、定期点検</b> 担当: 尾崎裕司 (建設コンサルタンツ協会 東北支部)  ●点検トンネル構造の種類 構造特有の変状の特徴 点検時の留意点 点検体系、定期点検の考え方・方法	(10:00-12:00) (12:40-15:30)  <b>&lt;現地実習&gt;</b> <b>斜面安定・落石、シェッド、トンネルの点検、診断に関する現地実習 (主要地方道 柳津昭和線)</b> 担当: 中村晋 首席研究員 (日本大学工学部) 日本技術士会東北本部福島県支部 他	(11:00-12:30) <b>防災-14 ロック/スノーシェッドの点検、診断対策</b> 担当: 八巻誠一 (日本技術士会東北本部 福島県支部)  ●点検の目的と種類と維持管理 構造で異なる (RC構造, PC構造, 鋼構造等) 点検項目及び方法 損傷事例写真を基にした損傷の把握と健全度ランクの判定	
2時限	(10:40-11:30) <b>【特別講話】</b> <b>共通-3 災害と防災気象情報の利活用</b> 担当: 福島地方気象台	(11:30-12:50) <b>防災-7 盛土点検計画と安定工</b> 担当: 増子裕一 (日本技術士会東北本部 福島県支部)  ●安定性評価のための調査手法 対策工を行うまでの監視(モニタリング)方法 安定工の目的と種類 盛土点検計画と健全度評価のポイント	(13:00-14:00) <b>共通-4 MEの行動憲章と技術文書作成の基本</b> 担当: 中村晋 首席研究員 (日本大学工学部)  ●技術者としての論理/ふくしまME 技術者としての行動のあり方 技術文書の構成、文書の書き方の基本に関する理解		(13:20-14:40) <b>防災-16 トンネルの調査</b> 担当: 鶴原敬久 (日本技術士会東北本部 福島県支部)  ●詳細調査実施が必要な変状の特徴 定期点検の着目点 詳細点検の実施	(13:30-17:00) <b>認定試験 (口頭試問)</b> 担当: 各講師
3時限	(11:40-12:40) <b>防災-4 福島県の地形・地質および工学的課題</b> 担当: 渡部貴史 (福島県地質調査業協会)  ●地形/地質区分から想定される災害の危険因子	(13:40-15:00) <b>防災-9 斜面安定施設の点検計画, 診断</b> 担当: 島良一 (日本技術士会東北本部 福島県支部)  ●斜面 (のり面) の不安定化要因と点検診断のポイント 斜面崩壊の代表的形態毎に適用される標準的な対策工	(14:10-15:30) <b>防災-8. 斜面安定診断と安定度評価</b> 担当: 中村晋 首席研究員 (日本大学工学部)  ●防災点検の経緯、点検から診断、対策の流れ 斜面崩壊の素因と誘因に基づく、斜面安定性の診断に関する考え方 詳細点検, 対策工を含む斜面安定性評価の考え方		(14:50-16:10) <b>防災-17 トンネルの対策工</b> 担当: 鶴原敬久 (日本技術士会東北本部 福島県支部)  ●対策工設計の考え方 具体事例 適切な定期点検の実施に向けた留意事項	
4時限	(13:30-14:30) <b>防災-4 福島県の地形・地質および工学的課題</b> 担当: 熊谷広幸 (福島県地質調査業協会)  ●福島県内での災害事例からの福島県の地形・地質の特徴 工学的課題について資料調査, 現地調査および室内試験等による問題点評価手法					
5時限	(14:40-16:20) <b>防災-5 環境作用によるコンクリート・鋼構造物の劣化</b> 担当: 皆川翔平 (インフラ長寿命化研究会) 笠野英行 准教授 (日本大学工学部)  ●シェッドおよびトンネル覆工における環境作用と劣化 コンクリート構造物・鋼構造物に発生する劣化の特徴	(15:10-16:10) <b>防災-10 斜面安定施設の対策工</b> 担当: 島良一 (日本技術士会東北本部 福島県支部)  ●代表的な斜面 (のり面) 安定対策工 (抑制工, 地下水排除工等, 抑止工, グラウトアカー工等) の施工事例	(15:40-17:00) <b>防災-11 落石診断と安定度評価</b> 担当: 中村晋 首席研究員 (日本大学工学部)  ●落石の発生源の理解 調査票に基づく安定度の判定の考え方 落石の運動機構として転動, 落下などに関する力学挙動の基本 落石防護施設設計の基本的な考え方	(15:30-16:00) 移動等  (16:00-17:00) <b>意見交換会</b>		

(※講義日時及び担当講師は、変更となる場合がありますので、予めご了承ください)